

2021.12.6

R3年度 防災授業資料および 授業アンケート結果の概要

国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所
豊岡市防災課

R3年度 防災授業資料および授業アンケート結果の概要(小・中学校)

■防災授業資料に関わるこれまでの経緯（小・中学校）

- 令和元年度までは、小学校の学齢(低・中・高学年)のレベルに応じたテーマを設定し、水害の防災教育教材を作成。
- 令和2年度は、中学校を対象とした水害の防災教育教材を作成。
上記に加え、コロナ禍での避難を考えることをテーマにした教材を、小・中学校版で作成。
- 本年度、コロナ禍での避難を考えることをテーマとした教材を小学校低～中学年用に追加

防災授業資料【小学校】

学齢	授業テーマ	授業テーマ(分散避難)
高 学年	テーマ2 わたしたちができること ～助けられる側から助ける側へ～	新型コロナウイルスと 自然災害からの 避難を考える (中～高学年用)
	テーマ1 水害にどのように対応するか ～避難方法を知る～	
中 学年	テーマ2 自然との共生	
	テーマ1 水害とその対策	
低 学年	テーマ2 自分の命は自分で守る	
	テーマ1 雨の恵みと災い	

防災授業資料【中学校】

	授業テーマ
テーマ3	「水害犠牲者を出さない ためにできることを考える」 (貢献する力を身に付ける)
テーマ2	「水害時の具体的な 避難行動を考える」 (考える力を身に付ける)
テーマ1	「避難できない 人間の心理を理解する」 (学ぶ力を身に付ける)
テーマ0	「新型コロナウイルスが蔓延 するなかでの避難を考える」 (分散避難の考え方を知る)

■令和3年度の改訂点

- 災害対策基本法の改正に伴い、警戒レベルの新運用と避難情報を更新

警戒レベル	新たな避難情報	これまで
5	緊急安全確保	災害発生情報
4	避難指示	避難指示(緊急)、避難勧告
3	高齢者等避難	避難準備・高齢者等避難開始

- 水害時の状況をイメージしやすい写真集を作成



「いま(平時)」と「災害時(平成16年台風23号)」が比較できる写真集 浸水想定(計画規模)イメージ画像

- 避難所生活を例にとり、様々な人々が集まる環境下において、互いに思いやること、配慮すること協力し合うことに気づきを与えられるような資料を追加(防災におけるジェンダーギャップ解消)
(小学校高学年テーマ2「わたしたちができること」、中学校テーマ3「貢献する力を身に付ける」)



防災授業資料の活用実態

- 豊岡市内小学校、中学校ともに、全校で使用された。
- 小・中学校ともに、多くの学校で全学年において使用された。特に小学校では、各学年において学齢に応じた防災授業資料が活用された。
また、学校によっては、1つの学年で2つのテーマを扱ったところも見られた。
- 写真集についても、多くの学校で活用された。

【市内小学校】	低学年 テーマ①	低学年 テーマ②	中学年 テーマ①	中学年 テーマ②	高学年 テーマ①	高学年 テーマ②	コロナ禍 避難	写真集
使用した:全27校 <u>使用した教材</u> →	19校	21校	25校	19校	23校	16校	9校	15校

【市内中学校】	テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④ (コロナ禍避難)	写真集
使用した:全9校 <u>使用した教材</u> →	6校	3校	2校	4校	7校

防災授業資料を活用しての主な感想【小学校】

1) パワーポイント、写真等が視覚的にわかりやすかった(14校)

- ✓ 実際の水害の写真を見て、子ども達は驚いていた。
- 平常時、災害時の比較画像がとても分かりやすかった。
- 普段生活している場所が水につかっていたため、被害の様子をイメージしやすかった。
- ✓ 本校の浸水被害の場合の想定がイメージしやすく良かった。
- ✓ 映像化されたものを見ることで被害の大きさや災害の怖さを感じることができた。
- ✓ 台風23号の被害を振り返るにあたり、経験のない子どもたちにリアルな映像を見せることができた。
- 発達段階に合わせて分かりやすくまとめてくださっていて、視覚にも訴える学習になりよかった。
- ✓ 動画や写真で、子どもたちにも分かりやすくできており、指導に効果的だった。 等

2) 水害や防災を身近に感じる事ができた、自分事として捉えることができた(9校)

- 豊岡を身近に感じられる内容でよかった。子どもたちがふるさとのよさを感じることにもつながっていたと思う。
- ✓ 子どもが興味を持って取り組める問いや写真が用意されていて良かった。
- 校区に合わせて資料がつくられていて、自分たちの身近な事としてとらえやすかった。
- 実際の画像により臨場感があって、自分事として捉えることができて良かった。
- ✓ 水害時の状況をイメージする写真集には、児童に馴染みのある地区や場所が多くあり、提示するとより身近に水害があった事実を感じられたようである。
- ✓ 内容も学年ごとにわかりやすく作成してあり、豊岡市の写真がたくさんあったことで、災害をとても身近に感じられたようであった。
- ✓ 地区ごとに写真が分類されていたので、学校の地区に寄り添った資料を使うことができた。子どもにとって身近な町の写真を見せることができた。 等

3) 防災や対応等を考える機会になった、考えることができた、意欲的に取り組めた(11校)

- ✓ 問題が取り入れられていて、子どもたちが考えることを楽しんでいた。
- ✓ 雨の恐ろしさだけでなく、雨がもたらす豊かな自然についても知ることができた。
- コロナ禍において、バラバラ避難をすることも身を守る避難方法だと知ることができた。
- ✓ 児童は、大変興味深く説明を聞いたり、問題について考えたりしていた。
- どの児童も真剣な表情で聞いており、「家族にこの時のことを聞いてみたい。」「いざという時のことについて、家族と話したい。」という声が聞かれた。

- ✓ 内容がわかりやすく、子ども達の感想にも「川の水が増えて洪水になるのは怖いけど、雨がふることで植物が育ったり、川遊びができたりすることもわかった。」というような感想が多くあった。雨の良いところや怖いところが伝わったように思う。
- ✓ 防災授業資料があると、当時の写真などもあり、子どもたちがとても真剣に見て、話を聞くことができていた。 等

4) 教材や内容がわかりやすかった、理解しやすかった(10校)

- ✓ イラストも入り、言葉も平易で分かりやすい資料であった。
- ✓ わかりやすく児童も楽しみながら命を守る行動について学べたと思う。
- ✓ 問題について、「はい」「いいえ」で答え、その理由を記述するようになっており、児童が取り組みやすかった。
- 簡単な文章表記なので、文章を書くことが苦手な児童でも簡単に書くことができた。
- 授業を進めやすく、クイズなどもあり児童にとっても理解しやすい教材でした。
- ✓ 各小学校の浸水想定を導入のパワーポイント資料に挿入し提示すると、より危険性を感じたようで、ここで児童がかなり食いついた。
- ✓ 資料が更新されて、現在の町の様子と被害にあった町の様子が比較でき、その場所を知らない児童にとっても町の変容がわかりやすかった。 等

5) ○×クイズ等がよかった(3校)

- ✓ クイズがあり、児童も興味をもち取り組むことができた。
- ✓ クイズが入っていたことにより、子どもの興味をひいた。
- ✓ 低学年では、○×クイズによって意欲的に授業に参加できた。

6) 教材等が使いやすかった(指導上の教材に対する評価等)(18校)

- 低、中、高学年それぞれの指導資料をいただき、全学年で系統立てて指導を行うことができた。
- ✓ パワーポイント、指導内容等が書かれていて使いやすかった。
- ✓ パワーポイントの動くイラストや子ども達にも馴染みのある地域の写真等、興味の持てる資料だったので、とても使いやすかった。
- 参考事例として付いていた詳細な学習指導案が大変役立った。特に発問や指導上の留意点は、パワーポイントの作成意図がよく分かるものであった。
- 前半で知識を得た後、後半でクイズをしながら考えを深められるという展開は大変良かった。

- ✓ 児童も、知らない昔のことですが指導する側も体験していないこともあるので、毎年資料を提供していただいていたありがたい。
- ✓ 指導案もあり、使いやすく、また、内容にも系統性があるのでありがたい。
- 今回、コロナ禍における避難の仕方についての資料を使った。新しい視点での授業を行うことができた。
- 毎年利用している。年々、アップデートされていて良いと思う。
- ワークシートに自分ができる防災について家族と考えて記入する欄があった点が良かった。 等

7) その他の感想(2校)

- 4年生の社会科の学習にも活用できる資料で大変役立った。
- 6年間継続して使うことで、段階を踏んで学習を進めることができると思う。

改善点・要望等【小学校】

★ タブレットでも使えるようになると助かる。(3件)

- 「水害を防ぐために川をどうすれば良いか」という問いは、中学年の子どもには少し難しそうだった。
- 現在の写真と比べられる写真があればもっといいのではないか。

★ 写真集の資料の中に、各学校の校区の資料があれば更に良い。学校内の被災写真も欲しかった。

- 被害状況だけの写真もあつたらよかった。
- ワークシート「2.今日の学習で分かったこと・思ったこと」に加えて、疑問に思ったこと、調べてみたいことなど付け加えると、より自分の考えを書きやすくなると思う。
- パワーポイントの写真1枚1枚を大きくしてほしい。
- (低学年)子どもたちの意見を一つ一つ聞いて進めていると、25ページ最後までなかなかたどりつかず、授業の組み立てが難しかった。
- 中学年テーマ2のスライド25「ちゃんと避難することが大切です」の「ちゃんと」をより具体的に表現できたらよい。
- 表現に関する改善点
 - 中学年テーマ2のスライド19で「水害から町を守るために、何も考えずにどんどん工事を進めればよいですか?」とあったが、「何も考えずに」を「自然のことを考えずに」と言葉を変えて授業した。
 - 高学年テーマ1のワークシートで、「どちらかに○をつける」というところは、少し表として分かりにくい気がする。「する・しない」と記述しておいて○をつける等にしてはどうか。

防災授業資料を活用しての主な感想【中学校】

1) パワーポイント、写真等が視覚的にわかりやすかった(3校)

- ✓ 具体的な写真がたくさん入っていて、生徒が「オーッ」とよく反応していた。
- ✓ 子どもたちがイメージしやすい内容のパワーポイントとなっていた。また、写真が今と昔を比べやすく良かった。
- ✓ 防災授業資料のパワーポイントは、写真が多く視覚的に分かりやすかった。

2) 水害や防災を身近に感じる事ができた、自分事として捉える事ができた(2校)

- いろんな場面を想定させることで、自分事として「分散避難」について学ぶことができるように工夫されていた。
- ✓ 生徒も、コロナ関連については関心があり、意欲的に取り組んでいる様子が見られた。

3) 防災や対応等を考える機会になった、考える事ができた、意欲的に取り組めた(3校)

- ただ体験の話を聞くだけでなく、グループワーク等で生徒が活発的に意見をいったり、じっくり考えた時間がありよい資料であった。
- ✓ ただ避難するだけでなく、そのうえでのコロナとの向き合い方について考える機会は今までなかったので、生徒とともに考える良い経験となりました。
- 生徒の感想として「災害時には、迷わずみんなで声をかけあって避難したい」、「正しい判断ができるように、普段の生活から考えることを大切にしたい」などがあった。

4) 教材や内容がわかりやすかった、理解しやすかった(1校)

- ✓ 新型コロナウイルスが蔓延するなかでの避難を生徒が理解しやすい視点から作られていた。

5) 教材等が使いやすかった(指導上の教材に対する評価等)(5校)

- 事前に授業者で研修をしましたが誰が指導者になってもとても分かりやすくまとまっておりました。使いやすく若い先生にも好評だった。防災担当として計画もしやすかった。
- 忙しい時期でもあったため、事前に資料が整っていることによって、授業の内容を考えることに時間を割くことができ、たいへん助かった。
- 洪水ハザードマップや避難行動の目安の表は、授業後も廊下等に掲示することができ、防災について継続的に関心を持たせる事ができたと思う。
- 各学年授業のテーマがはっきりとしており、生徒に考えさせやすかった。

- 学習指導案について、各発問は学習のねらいにせまる内容になっており、ワークシートに自分の考えを記入し友達と意見交換をすることで、主体的・対話的で深い学びができるようになっていた。
- ✓ 防災授業がひとまとまりになっており、とても使いやすかった。

6) その他の感想(1校)

- 例年同様の内容を指導していく中で、指導内容が改善されていくと思う。また、必要な追加資料も各校で引き継いでいけばよいと思う。
- ハザードマップの授業の延長として、学年遠足でいく城崎エリアのハザードマップも取り入れた。歩く際に、危険個所を目視で確認させたいと思う。

改善点・要望等【中学校】

- アニメーションの設定があると、話の進行とズレてしまう。
- ★ 「分散避難」という言葉を理解させるだけでなく、「もし自分の地域で災害が起こったら、どのように行動するか」という視点で授業を組み立てる必要がある。子どもたちは「避難する」必要性は理解している。それより先を考えさせる授業展開が必要と考える。
- ★ パワーポイント形式の資料だと配布資料が増えてしまうので、生徒が学んだことを書き込めるような穴埋めのワークシートがあれば授業者もしやすいのではないか。
- ★ テーマ③の「中学生の自分たちにできることを考える」では、避難所設営のシミュレーションなどができるようなものがあればよいと思った。

R3年度 未就学児を対象とした防災教育資料およびアンケート結果の概要

■未就学児(幼稚園・こども園・こども園)を対象とした防災教育教材を作成

- 本年度、新たにイラストや写真を活用した、未就学児も災害をイメージしやすい教材を作成。
※ストーリーが固定化された紙芝居や絵本ではなく、園の先生方の裁量で防災教育を実施できる教材とした。
- 園の先生方向けに、園児に指導する際の防災教育のポイントをまとめた補助資料を作成。

【写真教材】

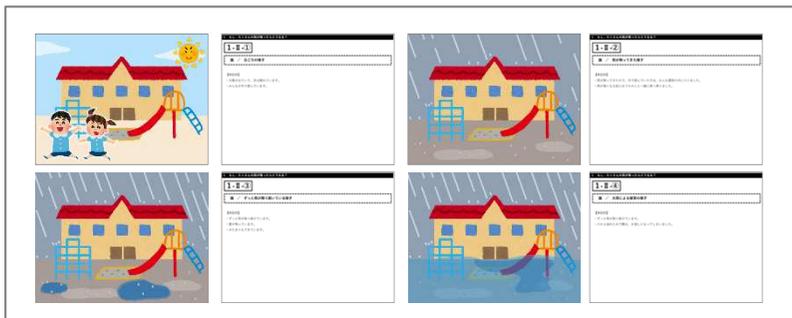


“いま”と“さいがい”が比較できる写真



建物の想定浸水深を示したイメージ画像

【イラスト教材】



イラストで説明できる教材



雨の「恵み」にも着目したイラスト教材

【補助資料 一教材の紹介、使い方及びポイントー】



防災教育資料の活用実態(11月22日時点)

- 11月12日時点で、市内39園のうち24園より回答いただいた。
- 24園中、18園が使用したと回答。
「使用しなかった」園からは、メモリアルデー以前に防災訓練等を実施したため等、時期が合わなかったとの意見が複数見られた。
- 多くの園で比較写真集が使用された。また、写真だけでは怖い印象を植え付けかねないところ、イラストがあったことでそれが緩和されたといった意見も見られた。

【市内幼稚園・こども園・保育園】 2021.11.12時点	比較 写真集	浸水想定 写真集	イラスト教材	保護者への お知らせ
使用した:18園 $\xrightarrow{\text{使用した教材}}$ 使用しなかった:6園	16園	9園	11園	3園

防災教育資料を活用しての主な感想【幼稚園・こども園・保育園】

1) 写真やイラスト等が視覚的にわかりやすかった(10園)

○ 写真を拡大して印刷し、「今」と「災害時」を並べてボードにはりつけると、違いに驚き、集中して見ていた。自分の目で比べられる点良かった。

✓ 比較した写真だけに、より台風の怖さが伝わった。園区の写真もあったので、インパクトが強いようだった。

✓ 災害前と災害時の写真やイラストがあることで、視覚的にわかりやすく、子どもたちにもわかりやすく話げできた。

○ 平時・水害時の比較写真を見せた際に、道路が見えなくなっていたり、車が水に沈んでいたり、目で見てすぐ状況の変化が分かるため、良かった。

✓ 子ども達にとって馴染みのある場所の比較写真があったことで、関心を持って資料を見たり話を聞いたりしている姿が見られた。

✓ 今回使用させていただいた資料の方が写真の枚数、画質もよくわかりやすかった。 等

2) 水害や防災を身近に感じる事ができた、自分事として捉える事ができた(3園)

✓ 平時・水害時の比較写真では、よく知っている場所の日常と非日常との比較ができて、幼児たちの心に驚きとして響いたようで強く関心が向いた。校区に合わせて資料がつくられていて、自分たちの身近な事としてとらえやすかった。

✓ ヒラキなどのよく知っている場所が出てくることにより、より身近に感じているようであった。

✓ 馴染みのある場所の水害時の写真を見ながら話していくことで、子ども達も台風、水害の怖さを感じられる事ができたと思う。

3) 防災や対応等を考える機会になった、考える事ができた、意欲的に取り組めた(9園)

✓ 身近なところへの関心は高く(浸水想定イメージ写真、本園は浸水深4m)、学習後も頭に残っていたようだ。

○ 手持ちの資料と話をすることで、災害について学ぶ事ができた。

✓ 水害による危険についてより強く考える事ができた。

○ 水の恩恵についての画像は、日頃の栽培活動や山や川での自然活動を生き生きと思い出すことで、自分事として水や水環境の大切さを改めて振り返る事ができたと思う。

✓ 毎月の避難訓練の成果も見られ、まずは「大人の話聞くこと」が大事だと子ども達の声も聞かれた。

○ 写真は、4歳児には恐怖心を持たせてしまうかと思ったが、イラストよりは小さめの写真だったことが良かったのか、恐怖を感じる幼児はおらず良かった。

○ 最後には、雨は怖いことばかりではないというメッセージやコウノトリのいる環境へとつなげることで、郷土愛を育むことにもつながっていて良かった。

- ✓ 子ども達に馴染みのある場所の災害写真があることで、より身近に感じたのか、命を守ることにについて、いつも以上に真剣に考えようとする姿が見られた。
- ✓ 写真ではなく、イラストで見るほうがより興味を持っていた(2歳児など)。 等

4) 教材や内容がわかりやすかった、理解しやすかった(6園)

- ✓ イラストがあり、分かりやすかった。
- ✓ わかりやすい比較写真を見ることで、災害の大変さを幼児なりに理解することができた。
- ✓ イラスト教材では、いろいろな場所の水害による被害や危険について、視覚的に写真よりもよりポイントをつかんで表現されていて分かりやすかったと感じた。
- ✓ 身近な場所の写真があり、子ども達にもわかりやすかった。特に幼稚園や学校の浸水想定イメージの写真は、驚いていた。

○ 伝えるための文章もあり、共通の物を使うことで多人数幼児がいる園でも、情報を共有することができた。

5) ○×クイズ等がよかった(4園)

- ✓ ○×クイズには子ども達が非常に興味を持った。
- ✓ クイズもあり、見るだけでなく、考えながら参加することもできてよかった。
- ✓ クイズ形式のものは、楽しんで参加しやすかった。また、自分たちの行動を考えることができた。
- ✓ クイズでは、子どもたちなりに考える場面もあり、良かった。

6) 教材等が使いやすかった(指導上の教材に対する評価等)(4園)

○ 災害写真だけでは、怖い印象だけを与えてしまう可能性があり、活用が難しい年齢もあるが、教材ではイラストもあったため、必要以上に恐怖心を与えることなく、子どもたちは水害のイメージがしやすかったように思う。

○ 園や住んでいるところの地域を選択して、活用できるのが良かった。

- ✓ 大雨の怖さだけでなく、めぐみの雨であることもおさえられていたのでよかった。

○ 説明方法もあったので、子ども達に問いかけながら一緒に考えることができて良かった。

- ✓ イラストだけでなく、コメントの例文もあったことで進めやすかった。

7) その他の感想(3園)

○ 画像をプリントアウトして保護者に示しながら、家庭で台風23号時の事を子どもさんに話してくださいとお伝えした。視覚的に示すことで家庭での伝承につながった。

○ その他の資料(今回使用しなかった資料)についても今後活用していきたい。

○ イラスト教材の使い方をもっと考えてから使用すればよかったと思った。

改善点・要望等【幼稚園・こども園・保育園】

- ▶ もう少し〇×クイズがあれば園児にとって関心が高まるのでは、と感じた。(2件)
- ★ 防災教育資料に入れるべき事かどうかは何とも言えないが、災害の復旧に当たっては多くのボランティアの善意に支えられていたので、汗を流してくださっている画像などがあつたら、そのあたりの説明に生かせると思った。
- ★ 浸水想定イメージ写真集は、自園の子供達がイメージしやすい写真がなかったので、今回は使わなかった。
- ▶ 子どもたちの親しみのある場所(アイティ、コープなど)であれば、なお良かったと感じる。
- ▶ 1枚のページに災害前と災害後の写真を同時に見比べることができると、更にわかりやすいと感じた。
- ★ 災害につながる可能性があるときに必要な行動や大切なことを伝えるイラストがあると、子どもたちに伝えやすく、分かりやすいと思う。
- ★ 園によっては、プロジェクター等の機材がないところもあるため、DVDもあると、もっと教材を手軽に活用しやすくなると思う。(2件)

使用しなかった園の意見【幼稚園・こども園・保育園】

- ▶ 園の都合で10月がとても忙しい時期となり、使用することができなかった。
- ★ 今年度は6月に水害の避難訓練をしたため使用しなかった。本園は0～2歳児の保育園なので、今後はイラスト等を使っていきたい。
- ★ 資料が提供された際には毎月の訓練(9月:水害・土砂災害について)が終わっていたため、今年度は使用していない。次年度活用したいと思う。今年度は、年長クラスでイラスト教材などを見る時間を設けたいと思う。
- ★ 園児向けには、紙芝居等のはっきりした絵や分かりやすい言葉の方が理解しやすいように思う。
- ▶ 0～1歳の保育園のため、使用していない。